

国際ロータリー会誌 グレン・E・エステス

ロータリーを祝おう 100年の歩み  
CELEBRATE ROTARY

# IBARAKI ROTARY

Club Weekly Bulletin

RI第2660地区 茨木ロータリークラブ 創立 昭和34年(1959年)12月23日



事務所 大坂府茨木市土中巻一丁目9-20 茨木商工会議所 TEL (072) 622-2255 F 567-0881  
 例 会 毎水曜日12時30分 ホテル日航茨木大坂 茨木市中懸橋一丁目1-10 TEL (072) 620-2121  
 会 長/長澤利治 幹 事/久保義哲 会報委員長/河原崎 啓  
 委 員/中西 松尾 武吉



姉妹クラブ:台北西北区扶輪社  
 友好クラブ:インドネシア・チネレC

No. 33 平成17年 4月 9日

本 日 の 卓 話  
 4 月 9 日 ( 土 )  
 「 家 族 親 睦 観 桜 例 会 」  
 親睦活動委員会

としているらしく、アチェ州に水道設備がないため井戸を掘っているとのこと。  
 ともあれ、昨年末の3RC 合同チャリティと、茨木 RC より30万円を、ジョグジャカルタの大学で学んでいるアチェ出身で被害を受け、ジョグジャカルタでの生活費が支払えない学生に対し送金しましたが、その感謝状を回覧致します。又いろいろな面で支援も必要になってくるのではないかと考えています。

**例会記録**

第2230 回例会 3月30日(水)晴  
 ロータリーソング「R-O-T-A-R-Y」斉唱  
 ゲスト・スピーカーご紹介  
 大西宏史様(ロータリーの友地区委員)  
 ビジターご紹介  
 武枝敏之君(豊中 RC)  
 北野和孝君(高槻西 RC)  
 西井忠義君(高槻西 RC)  
 森本 茂君(高槻西 RC)

**会長の時間** 長澤利治会長

2日前に又もやインドネシア スマトラに於いて大地震が起きたという報に、昨日ジョグジャカルタ RC に連絡をとりました。今回の地震により1000名以上の犠牲が出たということと、前回のアチェ州での地震被害については、インドネシアの地区直前パストガバナーMR カラモイとジョグジャカルタ RC のユニアルテイ・アイダの両名が、アチェの住民に直接要望を聞くために現地入りし、多大な被害者の生活の糧が漁業であり、とにかく漁船を1日も早く手に入れたいということのようです。MR カラモイは、油田の採掘を業

**出席報告**

第2230 回例会			前々回(第2228 回)		
会員数(免除)	出席	欠席	出席率	欠席	補正出席率
33 (8)	15	10	60 %	2	92 %

**幹事報告**

久保義哲幹事

- 1、RI及び2660地区連絡事項
  - 1) シカゴ国際大会出席勧誘について
  - 2) 国際奉仕・青少年交換委員長に部門別協議会資料アンケート依頼
  - 3) ライラ参加青年の推薦依頼 締切4/11
  - 4) 2004年規定審議会採択決議案について
  - 5) 次年度ガバナーカラーについて(茜色)
  - 6) 地区大会事務局閉鎖のお知らせ 閉局日3/31
  - 7) 国際大会信任状について
  - 8) 地区 RAC 北ゾーン行事の案内とバザー商品提供のお願い (収益金は日本赤十字社へ全額寄付) 「いざ防災!ふれ愛 たすけ愛 ささえ愛」チャリティーバザー 4/24(日)12:00~16:30 於:箕面かやの広場(周辺にカルフル箕面)
  - 9) 次年度国際大会記念事業委員会委員に長澤会員推薦のお願い
  - 10) RAC 地区年次大会登録の案内
  - 11) 2003~04年度PSC だよりNO19 3部
- 2、茨木市、他RCよりの依頼事項
  - 1) 北摂12RC 幹事会報告
  - 2) IM 第4組記録誌 1冊
  - 3) 台北西北 RC より会報と100周年記念切手
  - 4) 「阪大・地域団体ボランティア留学生支援連絡協議会」の資料
  - 5) 茨木養護学校入学式の案内 4/7(木)

## 春のライラの案内 高槻西ロータリークラブ

森本茂、北野和孝、西井忠義 各会員  
5/3~5日の2泊3日で春のライラを開催いたします。  
たくさんのご登録有難うございました。青少年  
の参加が極めて少なく苦慮しております。締切を4  
/11まで延長し推薦をお願いしております。ロータ  
リアンの参加も合わせてよろしくお願い致します。

## 退会の挨拶 安積史郎会員

今月末付けでホテルを退職することとなりました。  
このため茨木ロータリークラブを退会させていただく  
ことになり、出席させていただく最後の機会となりま  
した。昨年7月に入会させていただき実質9ヶ月間  
でしたがいろいろご指導いただき、楽しい時間をすご  
させていただきました。短い間でしたが茨木の地にご縁  
ができこのような集まりに参加できたこと本当に良い  
体験になりました。今後とも皆様がお元気で活躍さ  
れることをお祈りいたしております。本当にありが  
うございました。

## 委員会報告

### 親睦活動委員会 中西 勝委員長

4/9(土)の観桜会の出席者が非常に少なく、  
又ご家族様の出席も今のところありません。  
是非皆様のご参加を頂きたいと思っております。よろしく  
お願いします。

### 青少年・RA委員会 秋山 勤委員長

地区 RAC 年次大会登録をお願いします。

5/8(日) 於：大阪中央公開堂3F  
テーマ：大阪の中心で、ロータアートを咲かそう」  
ホストクラブ提唱：大阪中央 RC  
登録料：3,000 円

## 卓 話

### 「ロータリー雑誌月間を迎えて」

第 2660 地区ロータリーの友



大西宏史 地区委員

「ロータリーの雑誌月間」は、世界中のロータリアンに  
とって情報源であるロータリー雑誌の重要性について  
認識を深め、ロータリー情報の普及をはかる特別月間  
です。1911年1月25日、RIの初代事務総長チェスリ  
ー・ペリーによって公式機関誌『ザ・ナショナル・ロ  
ータリアン』が発刊されたのを記念して、この日をふ  
くむ1週間を雑誌週間としました。そして1983-84  
年度に4月が「ロータリーの雑誌月間」として指定さ  
れました。尚、この機関誌の名前が現在の『ザ・ロ  
ータリアン』に改称されたのは1912年です。

ロータリーの雑誌には、国際ロータリーの公式機関誌  
THE ROTARIAN と RI 理事会が承認した公式地域雑  
誌があります。『友』誌4月号の「世界に開かれた情  
報の窓」(pp.10~11)にも、これらすべての地域雑誌が  
紹介されています。会員であるかぎりいずれかの購読  
を続けることを会員の身分保持の条件としなければ  
ならない、と標準ロータリー定款、及び国際ロータ  
リー細則で定められています。

RI 理事会が指定した31の公式地域雑誌は24カ国語  
で発行され、130カ国で読まれています。発行部数は  
約76.8万部、世界の会員総数1,214,127名(2004年  
12月31日RI公式発表)の過半数がこれら地域雑誌  
のどれかを読んでいることとなります。

地域雑誌としての使命は、地域的性格のニュースに加  
えて、会長メッセージ、RIに関する公式ニュースや情  
報の発表、RI理事会や財団管理委員会の決定事項の抄  
録、有意義なクラブ・プロジェクトなどを紹介するこ  
とにあります。また、RI指定記事の中、5割以上を地  
域雑誌に掲載するのが望ましく、編集内容はRIの方  
針に合致していて、少なくともその50%はロータ  
リーあるいはロータリーに関連のある事柄に関する記事で  
なければならない、とあります。

さて、『ロータリーの友』は日本の公式地域雑誌となる  
ために、1979年7月より1年間の試験期間に入り、  
1980年7月から公式地域雑誌として承認されました。  
1991年には、『友』誌は栄誉あるRI会長総合優秀賞  
を受賞しています。

ロータリアンのための機関誌・情報誌、『友』誌によ  
ってロータリー情報をもっとも効率よく得ることができ、  
多くの会員の意見や体験を読むことができます。ロー  
タリーライフを深めるために、またクラブが国際ロー  
タリーと直結しているという確認のためにも『友』誌  
は必要な媒体であります。

2003~04年度『友』誌の発行部数は合計1,407,950部、  
1か月平均で117,329部、公式地域雑誌の中では最も  
発行部数の多い雑誌です。“かくれたベストセラー”と  
もよばれたりする所以です。同年度の購読料1か月平  
均収入実績は22,875,000円、広告料1か月平均収入  
実績は3,630,250円となっています。『友』誌にとって  
広告は現在でも大事な収入源で、1975年以来の価格を

維持していくためにも、この広告収入が一役かっています。

『友』の誌創刊当初は横組みのスタートでしたが、1972年1月から現在の姿、左から開けると横書き、右から開くと縦書き、になりました。このように縦組み・横組みにわけての製作・編集は日本特有の発想といえます。

「横組みに学び、縦組みに参画」を、と渡邊 隆氏が友委員会委員長に就任のご挨拶(『友』誌 2004年7月号 「『ロータリーの友』の本質」p.1)で述べておられます。横組みの部はRI 会長メッセージ、RI 世界本部からの情報、RI 指定記事、月間特集などが主体で、友委員会・事務局が企画した記事が中心です。「縦組み」の部はロータリアン相互の交流と情報交換の場です。因みに、我が2660地区の各クラブ、会員の方々は『友』誌の横組み、縦組み双方へ活発にさまざまな投稿記事で参画しており、毎月号で掲載実績をあげています。今後とも“元気いっばいの第2660地区のクラブ、ロータリアン”を全国に発信し続けていきたいものです。

2004～05年度の『友』誌の主な新企画は次のとおりです。

1. 年間テーマに関連して— RI テーマ「ロータリーを祝おう」に因み、また、2005年2月にロータリー100周年を迎え、「奉仕の1世紀 ロータリー100年」を年間テーマに、100周年記念の社会事業の活動事例を紹介する。「奉仕の一世紀」の具現化：エポックメイキングな出来事など、11回に分けて歴史的なものを紹介する。(第1回は「ロータリーの誕生」)
2. 新企画「基本の樹 ようこそロータリーへ」  
ロータリーの基礎知識的な解説：単に新会員向けではなく、入会后数年を経たロータリアンにとっても新たな発見・気づきのお役に立ちそうな内容を連載(年間6回)  
声を聞く：「大・中・小規模クラブの会員」「80歳以上の会員」など、  
毎回テーマと対象を代えて声を聞く。(年間5回)
3. 新企画「風紋」 毎号一人のロータリアンをクローズアップして、その人物を紹介(職業、社会貢献、その他、ロータリアンであるがゆえに、仕事に対して、地域に対して、人間に対して、行動し得たものを紹介)する。

偶に、“読まれざるベストセラー”と呼ばれたりすることもある『友』誌ですが、しかし、これはどうも的確な表現ではない、と思います。昨年11月、当地区86クラブ対象に実施した『友』誌に関するアンケート調査の結果からは、クラブ会員間のコミュニケーションに大いに活用されていて、『友』誌への関心を尚一層深め、読書率をたかめてゆくためのさまざまな工夫と実践中の事例が伺えました。お手もとの「アンケートカバー」をご参照いただきながら、具体事例を幾つかご紹介させていただきます。(・・・)

『友』誌の記事内容に関して、“面白い”否“面白くない”とのさまざまな意見・感想を伺うときもあります。しかし、ロータリアンの機関誌としての機能・役割に照らし合わせて考えてみると、やはり一週刊誌とか娯楽雑誌とは明らかに一線を画して、ロータリー活動の視点からの「おもしろさ」、これこそをまずは前提において意見を交換しあうことが大切じゃないかな、と思うのです。

『友』誌を手にして、読み始める箇所、興味を感じる記事はロータリー歴の違い、職業観、人生観、奉仕観の持ち方等によって、いろいろ異なっていて当然であります。全ページを最初から読まなくてはならないという一種の呪縛から解放されて初めて、“読まれざるベストセラー”ではなくなると思われます。

ページをパラパラとめくってみて興味を示す記事に出会えるように、自らの感度とロータリアンとしての熱い想いをいつもたかめておくことが肝要ということでしょうか。『友』誌より何を取り出し、何を学び、何を感じ取っていくか、これはいつにかかってロータリアン一人ひとりに託されているところでもあります。

折しも、4月の雑誌月間を迎えて、グッド・タイミングの記事を発見しました。RI 指定記事「印刷された言葉の価値を見直そう」(『友』誌4月号 pp. 14-15)です。是非、ご一読なさってみてください。

ロータリアンの3大義務、それは「例会に出席・会費納入・雑誌の購読」です。でも大切なことは“義務だから”読むではなく、『友』誌を通じての情報を交換し、会員同士の親睦を深め、あるいは他のクラブや地区の活動を知り、それらを自分の活動に活かし、『ロータリーの綱領』推進に活用できるから読む、でありたいものです。

実に『友』誌はロータリー知識の宝庫です。せっかく手元にあってこれを読むか読まないかの積み重ねで大きい差が出ます。まさにその文字通り、わたしたち“ロータリアンの大切な友”として是非とも『友』誌との交友を深めてゆきたいと思っております。

## ニコニコ箱

高島副 S.A.A

大西様より卓話お礼をニコニコに頂きました

春のライラに参加お願いします

高槻西 RC

安積会員色々お世話になりました お元気で 中西

本日計17,000円 累計1,485,476円

## 次回卓話

「3分間スピーチ」

松尾康弘、長澤利治、大森慈祥、

山田慶子、山口和雄 各会員